令和３年３月１９日

保護者各位

福島県立福島中央高等学校長

令和２年度学校評価アンケートの集計結果について（お知らせ）

春暖の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動及びＰＴＡ活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、保護者の皆様やお子様にご協力頂きました「令和２年度学校評価アンケート」の集計結果について、下記のとおりお知らせいたします。ご回答頂いた結果や、お寄せ頂いたご意見・ご要望等を次年度の学校運営に生かし、より一層の教育活動の充実に取り組んで参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

記

１　アンケートの集計結果の概要（裏面参照）

「学校経営・運営ビジョン」の３つの重点目標（「基礎学力の向上」「社会性の育成」「健康教育の充実」）の各具体的重点項目について、評価平均点が概ね「３点台」（やや当てはまる）という結果となりました。

保護者の皆様から、学校としての取組みが全体的に適切であるとの評価を頂きましたので、今後も継続して取り組んで参ります。

２　保護者・生徒の自由記述のご意見についての回答

【保護者】

昨年よりホームページの更新がされなくなったので、前よりも見なくなった。
【学校より】　今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校行事や定通体育大会等が中止となり、生徒諸君の活躍の機会や活動の場面が減ったことにより、学校ホームページの更新が少なくなってしまいました。 次年度は、学校行事や生徒の活動の様子、様々な取組みについて、ホームページを随時更新してタイムリーに紹介していきます。

【生徒】

（中央高校の良いと思うところ）　服装が自由で個性を出せること。
【学校より】　本校には制服がなく、服装・頭髪について細かな決まりはありません。日頃から、生徒一人ひとりが気持ちの良い環境で学校生活を送れるよう、「肌の露出の多い服装」や「華美・奇抜な服装」は避けるよう指導しています。引き続き、場に応じた服装を心掛けてください。

【生徒】

（中央高校の良いと思うところ）　給食がおいしい。
【学校より】　本校では栄養バランスの良い食事が摂れるよう、日々栄養士が献立を立てております。普段食べ慣れない食材や苦手な食材もあるかもしれませんが、栄養バランスを考えての給食ですので、残さずしっかり食べましょう。 なお、献立表と給食だよりを毎月配付しておりますので、それに関する質問やその他「食」に関することについて何かあれば、お気軽にご相談ください。

（事務担当　教頭　電話 024-523-4740 ）

福島県立福島中央高等学校
令和2年度　学校評価　最終自己評価

学校経営運営ビジョン			自己点検	学校評価アンケート集計結果							自己評価				
3本柱	重点目標	具体的重点目標	今年度実施状況	評価点 4:良く当てはまる　3:やや当てはまる 2:あまりあてはまらない　1:全くあてはまらない							評価点 1:できていない 2:あまりできていない 3:ある程度できている 4:十分できている		総合評価		自己点検・学校評価アンケートを受けての自己分析及び次年度への改善策
				生徒（回答数36）100%		保護者（回答数26）72.2%			教職員（回答数10）90.9%						
				評価平均	昨年度平均	評価平均	「わからない」回答割合	昨年度平均	評価平均	昨年度平均					
1 基礎学力の向上	1-1 基礎学力の養成	①生徒に応じたプリント教材で繰り返し学習させ、基礎基本の知識や技術の定着を図ります。	各教科で授業の進行状況や生徒の理解に合わせた教材（プリント）を作成した。練習問題や類題を用意し、知識の定着を図った。	3.39	3.50	3.45	16.7%	3.24	3.13	3.27	3	3	3.0	3.0	具体的重点目標をふまえ、工夫した教材を利用しながら基礎基本の知識と技術の定着を図った。 次年度も学習意欲がさらに向上するよう、授業の改善や内容について工夫を加える。
		②授業の充実と校内漢字探究等の実施により、生徒の基礎学力の向上を図ります。	漢字探究については6月と12月に実施した。	3.46	3.48	3.33	19.2%	3.27	3.00	3.18					
	1-2 少人数教育によるきめ細やかな授業展開	③　クラス分割授業を実施し、指導効果を高める授業を展開します。	生徒の実態を考慮しながら4年生の英語、全学年の数学で分割授業を実施した。	3.08	3.17	3.21	26.9%	3.32	2.80	3.18	3	3			・分割授業のあり方については、生徒数が減少している実情や生徒の実態を考慮しながら検討する。 ・学習意欲・学習態度を育てる授業展開等を継続する。
		④ティームティーチングの授業を実施し、個別指導を充実させます。	・数学は各学年で、英語は1～3年生でTTを実施した。 ・学習支援員を、特に実習を伴う授業に参加してもらうようにした。	3.29	3.31	3.27	42.3%	3.32	3.00	3.27					
	1-3 読書に親しむ態度の育成	①教科の授業やホームルーム活動で、図書館等を活用し、図書に親しませ、読書を奨励します。	授業、LHR等で図書館を活用して、読書に親しませる活動を行った。南高校との共有図書館であるので、南高校の図書館便りを各クラスに掲示した。	3.36	3.39	3.35	34.6%	3.15	3.10	3.27	3	3			夏休み、冬休み前の長期貸し出しを利用する生徒もみられるようになってきた。来年度も読書に親しませる活動を継続していきたい。
2 社会性の育成	2-1 マナー意識の向上	①清掃の徹底やボランティア活動の実施等により、公共心を育てます。	毎週末の清掃活動を実施。生徒会主催のボランティア活動を実施。	3.37	3.54	3.42	7.7%	3.33	3.00	3.45	3	3	3.0	3.0	今年度はコロナ感染対策のため、計画通りに、事業を行うことができなかった。しかし「公共心」「マナー意識」「思いやりの心」は、どれも授業をはじめとする日常生活のすべての場面で、全教職員で全体的に、また個別に継続的に指導している。今後も、全職員でいじめの未然防止に努めたい。
		②スマートフォン・携帯電話の指導を充実し、場にふさわしい使用マナーを身につけさせます。	考査時の携帯電話の取り扱いや、ＳＮＳの危険性を知った上での適切な使用の指導をＨＲ、安全教室等を通して行った。	3.66	3.43	3.44	3.8%	3.38	3.30	3.27					
		③いじめを防止し、思いやりの心を育てます。	定期的に個々の生徒の情報交換をおこなった。「いじめ防止アンケート」を実施した。	3.51	3.41	3.48	3.8%	3.41	3.20	3.55					
	2-2 キャリア教育の充実と進路実現	④進路説明会や二者面談により進路意識の高揚を図ります。	・5月に４年生対象の進路説明会を実施し、就職試験・進学指導に向けた進路指導を行った。 ・各学年で年3回、二者面談や三者面談を予定とおり実施した。	3.64	3.38	3.52	13.5%	3.22	3.15	3.32	3	3			新型コロナの影響で、就職試験の延期などや企業の求人自粛の影響が心配されたが、本校の影響は少なく、就職内定が進み生徒の希望とおりの就職内定となった。また進学においても生徒の希望とおりの結果となった。次年度は計画とおりの進路行事を行うとともに、進路希望の実現に取り組みたい。
		⑤卒業後の進路希望の実現に向けた就職、進学指導を充実させます。	・７月に４年対象に進路ガイダンス（ハローワーク主催）は実施できたが、３年生についてはコロナの影響で実施できなかった。 ・就職支援員より情報提供を図り、就職活動を行った。	3.60	3.20	3.41	15.4%	3.23	3.20	2.91					
		⑥進路ガイダンス等により、社会的スキルを身につけさせます。	・１０月予定の、ハローワーク主催の就職支援事業はコロナによる影響で実施できなかった。３月実施予定の進路ガイダンスは内容を変更して実施することができた。	3.63	3.30	3.37	26.9%	3.07	3.30	3.27					
	2-3 就業率の向上	⑦生徒のアルバイトも含めた就業を奨励し、勤労意識を高めます。	・就業調査を年度内に3回実施し、勤労意欲の向上に努めた。 ・「進路だより」を発行し、進路情報を提供した。	3.66	3.72	3.54	7.7%	3.43	3.10	3.36	3	3			本校生の実情と現状を把握し将来の進路実現に向け指導していきたい。
3 健康教育の充実	3-1 コミュニケーション能力の向上	①クラス活動や生徒会活動を通して、生徒間の交流を図り、生徒のコミュニケーション能力を高め、自信を育てます。	コロナによる休校、年間行事の変更により実施計画通りは実施できなかった。	3.46	3.46	3.36	3.8%	3.24	2.33	3.18	3	3	3.7	3.7	生徒減少により行事の精選が必要である。今後、生徒の実態に応じた行事の見直しを図っていきたい。
	3-2 教育相談の充実	②クラス担任等との面談を通して、生徒の社会生活への適応指導を行い、保護者との連携に努めます。	定期的、また、必要に応じて面談を実施し、その内容を共有している。	3.54	3.39	3.57	11.5%	3.29	2.90	3.27	4	4			問題を抱える生徒のカウンセリングは、今後も担任と連携しながら行っていきたい。個別面談も計画に従って行っていきたい。また、カウンセラーの継続配置を確実に行って欲しい。
		③スクールカウンセラーとの個別面談を実施します。	1年生については全員面接を実施した。また、担任と連携しながらカウンセリングを実施した。	3.43	3.37	3.38	19.2%	3.29	3.30	3.45					
	3-3 命や食を大切にする指導の充実	④命や性の大切さや、薬物乱用防止などの教育を充実します。	１２月に福島警察署生活安全課による薬物乱用防止教室を予定していたが、コロナ感染症拡大防止のため中止となった。性の指導については必要に応じて個別指導を行った。	3.69	3.59	3.46	7.7%	3.41	3.20	3.27	4	4			食の大切さを身につけさせるために、授業だけでなく、外部講師を利用したものも効果的であった。また、今後も給食を栄養バランスの取れた生きた教材として生徒に利用させたい。
		⑤家庭科の学習や食育講座を通して、食の大切さについての理解を高めます。	家庭総合やフードデザインで実習を取り入れながら食生活の充実につながるよう指導した。栄養教諭による「栄養教室」を実施した。	3.69	3.65	3.60	3.8%	3.28	3.30	3.45					
		⑥給食指導により、栄養バランスのとれた食習慣を身につけるよう指導します。	毎日の給食内容の黒板提示や「給食だより」により、より深く栄養バランスの大切さを指導した。	3.66	3.57	3.57	11.5%	3.17	3.10	3.45					
その他		学校は、保護者との連絡や面談等を密に行い、家庭との連携・協力関係構築に努めていると思いますか				3.30	11.5%	3.24	3.1	3.18					
		学校は、保護者宛文書やホームページ・中央高校通信等により適切に情報発信をしていると思いますか				3.25	7.7%	3.12	3.1	3.27					